

んがみち子ちゃんの茶わんの前にきたときは、牛乳はほんの少ししか残っていませんでした。

「あら、ごめんなさい。これっぽっちになっちゃって。」

そして、みち子ちゃんはみんなよりもずっとずっと少なく、すこーしだけ牛乳を入れてもらいました。みち子ちゃんはかなしくなって、

「シク、シク、シク、シク。」

となきだしました。

先生は牛乳のちよっぴりはいったみち子ちゃんの茶わんを見せて、

「みなさん、みち子ちゃんはせっかく大きなお茶わんをもってきたのに、これっぽっちしかありません。かわいそうだと思う人は、おさじに一ぱいずつあげてください。」

みんなが、

「はい。」

といました。そして、

「かわいそうだな。」

「かわいそうね。」

と話しあいました。

先生がみち子ちゃんの茶わんをもって

ひとりひとりの前を通ると、たみ子ちゃんも、よし子ちゃんも、とも子ちゃんも、たけしくんも、かずおくんも、一郎くんも、みんなが自分の茶わんの牛乳を

おさじに一ぱいずつすくっていれました。

そして、どうでしょう、ひとまわりしたら、みち子ちゃんの大きな茶わんに牛乳がいっぱいになりました。みち子ちゃんはうれしそうに、にこにこして、

「どうもありがとう。」

といました。

幼児の教育 第五十八巻 第六号

六月号 © 定価五〇円

昭和三十四年 五月二十五日印刷
昭和三十四年 六月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社フレールベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレールベル館にお願いいたします。